



1 震災遺構 仙台市立荒浜小学校 2 震災の記憶を、これからを担う世代へ 3 石巻南浜津波復興祈念公園  
4 宮城スタジアムに朝日が昇る 5 東松島市学生震災ガイドTTT 6 7 東松島市震災復興伝承館

# 歩みは続く



## 生成発展

村  
井が走る  
知事コラム



私の尊敬するパナソニック株式会社の創業者である松下幸之助さんは「生成発展」が宇宙の本質である」と常にお話しになっていました。曰く「宇宙に存在する一切のものは、常に生成し、絶えず発展している。生物だけでなく無生物(例えば石)であっても何万年という歳月で考えれば、摩耗したり苔むすなどして変化する。変化の姿に、早い遅いの差、大小の差はあっても、人間ははじめ一切のものは絶えず動き、変わりつつあるのである。個々の姿を見れば命あるものが死を迎え、形あるものが滅びるということはある。しかし滅びたものも、それだけにとどまらず、それがまた次の新しいものを生むのである。言いかえれば変化、衰退に見えるものであっても、長久な観点に立つて考えれば全て『生成発展』であると定義できる。これこそが自然の理法なのである。人間がこの地球上に出現し、今日まで進歩の歩みを続けているということ、その根底にそれをなさしめた宇宙の『生成発展』があったからである。我々人



10



8



11



13



12



9

8 南三陸さんさん商店街の皆さん 9 (株)GM7の皆さん 10 追悼の明かりが灯る(仙台市) 11 かまちてらす閣上(名取市)  
12 WhiteDeer (Oshika) 名和晃平/Reborn-Art Festival2019(石巻市) 13 サン・ファン・イルミネーション2020 The Final(石巻市)

# 「復興」の先へ

間はそのことを正しく認識しなければならぬ。」「(松下幸之助発言集)より抜粋)。私は、思い悩んだ時に、常にこの本(座右の書)を読み返すことにしています。東日本大震災直後にこの一節を読み、「あの大地震を一時の不幸な出来事として捉えるのではなく、これを機に宮城県の防災体制をはじめ、他にはない様々な施策を思い切り進めることこそが自然の理法に沿った、「生成発展」の道である」と示唆を与えられました。

「震災直後の津波被災地域における建築制限」、「防潮堤の整備をはじめとした災害に強いまちづくり」、「水産業復興特区」、「仙台空港の民営化及び24時間化」、「循環器・呼吸器病センターの廃止及びがんセンターの他病院との連携・統合」、「コンセクション方式による上・工・下水道体の官民連携運営」、「人口減少や少子高齢化を見据えた県有施設の再編・統合」など、その時々で、御批判も含め大きな議論を喚起するような施策に挑戦できたのも、そのような考えに立脚していたからです。震災から10年を経た宮城県を大きく「生成発展」させるため、これから更に前向きに行動したいと思えます。

宮城県知事  
村井嘉浩